

第3回 松林防除実践講座

主旨	松保護士等を対象とする松林の適切な防除計画の策定と的確な防除の実施に必要な技術・知識の修得を目的とする。
対象	全国の松保護士、市町村の森林病虫害防除担当者および東北管内の森林組合職員
時期	平成19年11月29日(木)、30日(金)の2日間
場所	宮城県
研修	宿泊場所:宮城県市町村職員共済組合保養所 パレス松洲
実習場所	県有防災林潮騒の森(東松島市)、松島町中央公民館
参加費	18,000円
募集人数	60名(定員になり次第締切)
主催	(財)日本緑化センター
後援(予定)	林野庁、宮城県、東松島市、松島町、松保護士会、全国森林組合連合会、宮城県森林組合連合会、(社)ゴルファーの緑化促進協力会

講座スケジュール

	時間帯	内 容
1日目	13:00～13:15	開会の辞(当センター企画広報室長) 来賓挨拶(宮城県森林整備課長)
	13:15～14:15	報告「松島における松枯れ対策への取り組みについて(仮題)」 (松島町産業観光課主査 千葉 一穂)
	14:15～14:45	報告「宮城県における松枯れの現状と対策について」 被害木くん蒸処理用の生分解性シート実用試験、樹幹注入による薬剤通過部位に生じる通水障害に関する試験など宮城県での先進的な試みを紹介。 (宮城県林業試験場上席主任研究員 水戸辺 栄三郎)
	14:45～15:45	報告「マツノザイセンチュウ抵抗性品種の現状と課題」 (森林総合研究所林木育種センター育種第一課長 藤澤 義武)
	15:45～17:00	特別講演「薬剤散布の環境中の動態と生態影響について(仮題)」 (千葉大学園芸学部教授 本山 直樹)
	18:00～	交流会
2日目	8:30～16:00	実習場所(ホテルからバスで移動):県有防災林潮騒の森(東松島市)、松島町中央公民館 ①当年松枯れ被害木の外観調査の要領 ②上記①の被害木から複数箇所材片を採取、伐倒、長さ1m程度に玉切り、グループ毎に後食痕・産卵痕、マダラカミキリ幼虫の観察 ③「潜在感染木」の有無確認のための当年枯死木半径15m以内における小田式松脂滲出調査、木部と内樹皮の褐変による枯死木判定(宮城県林業試験場 中澤主任研究員) (昼食) ④伐倒くん蒸処理のデモンストレーション(地元森林組合作業班)と参加者による実習 ⑤健全木による樹幹注入(2社の製品)のデモンストレーションと参加者による実習 ⑥土壌灌注のデモンストレーションと参加者による実習 ⑦質疑応答(コーディネーター森林総研など) ⑧採取材片からマツノザイセンチュウ検出と顕微鏡による確認 ⑨講座修了証の交付 閉会の辞(当センター企画広報室長)、解散

第3回 松林防除実践講座【参加申込書】

時期 平成 19 年 11 月 29 日(木)、30 日(金)

場所 [研修・宿泊場所]

宮城県市町村職員共済組合保養所 パレス松洲

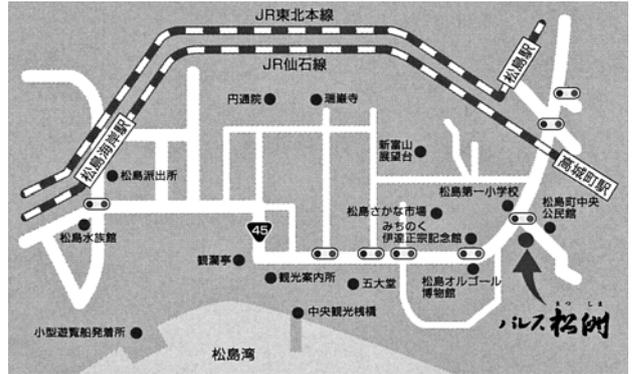
〒981-0215 宮城県松島町高城字浜 38

TEL:022-354-2106(代) FAX:022-354-4020

[実習]

県有防災林潮騒の森(東松島市)

松島町中央公民館



交通のご案内(JR)

仙台駅 — 仙石線 23 分 — 松島海岸駅 — 徒歩 30 分 — パレス松洲

仙台駅 — 仙石線 27 分 — 高城町駅 — 徒歩 15 分 — パレス松洲

仙台駅 — 東北本線 20 分 — 松島駅 — 徒歩 10 分 — パレス松洲

申し込み期限 平成 19 年 11 月 9 日(金)

ふりがな 参加者氏名			
機関名 (会社名)			
所属部・課			
ご住所	〒		
電話番号		FAX番号	
Email			
所属 (○をつけて ください)	松保護士 市町村の森林病虫害防除担当者 東北管内の森林組合職員 東北管内の樹木医 その他()		

宿泊、交流会及び自家用車について。ご希望の方は下記にご記入ください。

1泊2食付(交流会費含む)11,500円(税・サービス込み)を申し込みます	
交流会のみ6,500円を申し込みます	
1泊朝食付(交流会不参加)6,000円(税・サービス込み)を申し込みます	
備考	自家用車の有無 有 無

※宿泊は 4~6 名の相部屋となります。同室ご希望の方は備考欄にご記入いただくか、一緒にお申込をお願いいたします。

※宮城県内(仙台市を除く)の市町村職員共済組合にご加入の方は助成券がご利用いただけます。宿泊時に助成券をお持ちください。

講座事務局 財団法人 日本緑化センター 企画広報室

TEL 03-3585-3561/FAX 03-3582-7714/Email kohou@jpgreen.or.jp